



北海道北見北斗高等学校サイエンスクラブ

ビオトープの保全活動 ～アオミドロを減らす研究～



北見市の高栄南公園内のビオトープは子供たちの自然学習の場として作られたものです。しかし、現在は富栄養化によってアオミドロが大量に発生しており、子供たちの活動に利用できる環境ではなくなってしまいました。

ビオトープを再び利用できる状態に戻すために、サイエンスクラブは2019年から手作業によるアオミドロの除去活動とアオミドロを減らすための研究を行っています。今年は地域企業が開発した善玉活性剤がアオミドロの生育にどのような影響を与えるのかについて研究しました。